

令和6年度

教育委員会点検・評価報告書

令和7年9月

柳津町教育委員会

## はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が公布され、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。」とされました。

柳津町教育委員会は、平成20年度から、法の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価」を行い、その結果を報告書にまとめ、議会へ提出し、ホームページ等により公表しております。

令和6年度においては、第6次柳津町振興計画に掲げる将来像「みらい創生。ひと・ゆめ・れきしをつなぐまち」、そして教育政策の基本目標である「豊かな心を育むまちづくり」の実現に向け、4つの教育重点施策を積極的に取り組んで参りました。

点検・評価にあたっては、教育委員会の活動状況及び教育重点施策を評価対象とし、また、学識経験者の知見の活用については、本町の教育行政に関わりのある方や町立小中学校各PTA会長から、教育委員会が行った点検・評価（自己評価）の結果について、ご意見をいただきました。

この「点検・評価」の結果を活かし、今後も柳津町の教育行政の一層の充実と発展に努めて参りますので、町民の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年9月

柳津町教育委員会

## 目 次

### はじめに

I	教育委員会の活動状況	-----	1
II	教育委員会重点施策点検・評価一覧表	-----	6
III	各重点施策の点検・評価	-----	9
①	学校教育の充実	-----	10
②	生涯学習の推進	-----	36
③	生涯スポーツとレクリエーションの推進	-----	38
④	地域行事の継承、文化財の保存・活用と芸術文化の振興		41
IV	点検・評価に関する有識者の意見	-----	45
1	点検・評価に関する有識者名簿	-----	46
2	点検・評価に関する有識者の意見	-----	47

### 《 資 料 》

・	柳津町教育委員会の点検・評価の概要	-----	51
・	柳津町教育委員会事務管理及び執行状況の点検評価実施要綱	----	52
・	用語解説	-----	53

# I 教育委員会の活動状況

1 教育委員会委員

職名	氏名	備考
教育長	神田 順一	就任：平成31年4月1日から 任期：令和7年9月30日まで
職務代理者	鈴木 礼	就任：平成28年10月1日から 任期：令和10年9月30日まで
委員	上田 精一	就任：令和3年10月1日から 任期：令和7年9月30日まで
委員	鈴木 喜代	就任：令和5年10月1日から 任期：令和8年9月30日まで
委員	金子 陽亮	就任：令和5年10月1日から 任期：令和9年9月30日まで

2 教育委員会の開催状況

- 定例会            12回
- 臨時会           1回

3 教育委員会の審議・協議・報告の内容

【定例会】

月日	回数	主な審議・協議・報告内容
4/26	第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年4月の教育長業務報告について</li> <li>・令和6年度柳津町の教育重点施策について</li> <li>・各学校の学校経営ビジョンについて</li> <li>・各学校の人事配置について</li> <li>・柳津町学校運営協議会委員の委嘱について</li> <li>・町校長会・教頭会・教育研究会の組織について</li> <li>・柳津町特別支援教育就学奨励費助成要綱の一部を改正する訓令について</li> <li>・柳津町立小・中学校漢字検定料補助金交付要綱の制定について</li> <li>・柳津町立小・中学校数学検定料補助金交付要綱の制定について</li> </ul>
5/31	第5回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年5月の教育長業務報告について</li> <li>・各学校の教育活動の状況について</li> <li>・令和6年第2回柳津町議会定例会に提出する補正予算について</li> <li>・東北六縣市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会及び定期総会について</li> <li>・奥会津7町村文化施設間連携事業企画展とオープニングセレモニーについて</li> <li>・町のスポーツ大会について</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟県出雲崎町とのスポーツ交流について</li> <li>・令和6年度やないづ学校運営協議会活動計画について</li> </ul>
6/28	第6回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年6月の教育長業務報告について</li> <li>・各学校の教育活動の状況について</li> <li>・町議会第2回定例会の報告について</li> <li>・福島県市町村教育委員会連絡協議会教育委員・教育長研修会と会津ブロック研修会について</li> <li>・第1回やないづ学校運営協議会の報告について</li> </ul>
7/25	第7回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年7月の教育長業務報告について</li> <li>・各学校の教育活動の状況について</li> <li>・令和7年度使用教科用図書採択について</li> <li>・二十歳のつどいについて</li> <li>・奥会津文化施設間連携企画展「奥会津の縄文」について</li> <li>・第2回やないづ学校運営協議会の報告について</li> </ul>
8/27	第8回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年8月の教育長業務報告について</li> <li>・令和6年第3回柳津町議会定例会に提出する補正予算について</li> <li>・町海外派遣事業ブリティッシュヒルズでの研修について</li> <li>・令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について</li> </ul>
9/26	第9回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年9月の教育長業務報告について</li> <li>・各学校の教育活動の状況について</li> <li>・町議会第3回定例会の報告について</li> <li>・教育委員会委員の任命に係る議会同意について（1件）</li> <li>・教育長職務代理者の指名について</li> <li>・やないづスポーツフェスタの開催について</li> <li>・第3回やないづ学校運営協議会の報告について</li> </ul>
10/28	第10回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年10月の教育長業務報告について</li> <li>・各学校の教育活動の状況について</li> <li>・柳津町自治功労者表彰について</li> <li>・第36回ふくしま駅伝について</li> <li>・やないづスポーツフェスタのアンケート結果について</li> <li>・令和7年度柳津町の教育重点施策（案）について</li> </ul>
11/28	第11回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年11月の教育長業務報告について</li> <li>・各学校の教育活動の状況について</li> <li>・令和6年第4回柳津町議会定例会に提出する補正予算について</li> <li>・やないづ学校運営協議会からの人事に関する要望について</li> <li>・ふくしま学力調査の結果について</li> <li>・体力・運動能力テストの結果について</li> </ul>
12/25	第12回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年12月の教育長業務報告について</li> <li>・各学校の教育活動の状況について</li> <li>・町議会第4回定例会の報告について</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度教育課程の編成について</li> </ul>
1/28	第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年1月の教育長業務報告について</li> <li>・各学校の教育活動の状況について</li> <li>・令和7年度当初予算査定について</li> <li>・令和5年度教育委員会点検・評価報告書について（原案）</li> <li>・第4回やないづ学校運営協議会の報告について</li> </ul>
2/28	第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年2月の教育長業務報告について</li> <li>・各学校の教育活動の状況について</li> <li>・卒業証書授与式等について</li> <li>・町教職員離任式・転入教職員披露式について</li> <li>・令和7年第1回柳津町議会定例会に提出する令和6年度補正予算及び議案について</li> <li>・令和7年第1回柳津町議会定例会に提出する令和7年度当初予算について</li> <li>・柳津町外国語指導助手任用規則の一部を改正する規則について</li> <li>・令和5年度教育委員会点検・評価報告書について</li> <li>・第5回やないづ学校運営協議会の報告について</li> </ul>
3/28	第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年3月の教育長業務報告について</li> <li>・各学校の教育活動の状況について</li> <li>・町議会第1回定例会の報告について</li> <li>・教職員人事異動・町会計年度任用職員採用について</li> <li>・令和6年度第1回柳津町・三島町学校給食センター運営委員会定例会の報告について</li> <li>・令和7年度柳津町の教育重点施策について</li> </ul>

【臨時会】

月 日	回 数	主 な 審 議 ・ 協 議 ・ 報 告 内 容
3/4	第1回	令和7年度柳津町立学校職員の人事について

4 教育委員会委員の主な活動（学校行事・研修、生涯学習関係行事等）

月	日	主 な 活 動	出席者
4	3	新任教職員歓迎披露式	教育委員
	8	小・中学校入学式	教育委員
	30	町教育研究会総会	教育委員
5	7	縣市町村教育委員会連絡協議会総会	教育長職務代理者
	10	町小・中学校PTA連絡協議会総会	教育委員
	13	縣市町村教育委員会連絡協議会両沼支会評議員会	教育長職務代理者

	1 8	柳津小運動会	教育委員
	3 1	県市町村教育委員会連絡協議会両沼支会春季総会	教育委員
6	1	西山小運動会	教育委員
	2 8	町総合教育会議	教育委員
7	1	社会を明るくする運動駅頭広報	教育長職務代理者
	1 1	東北六県市町村教育委員会連合会総会及び教育委員 ・教育長研修会（山形県山形市）	教育委員
	1 2		
	1 9	奥会津7町村文化施設間連携事業企画展 オープニングセレモニー	教育委員
2 2	町小学校水泳記録会	教育委員	
8	6	町いじめ問題対策連絡協議会	教育長職務代理者
	1 5	町成人式～二十歳のつどい～	教育委員
	2 7	県市町村教育委員会連絡協議会教育委員・教育長 研修会（福島市）	教育委員
9	2 6	町小学校陸上記録会	教育委員
1 0	1	教育委員任命書交付式	教育委員
	5	町小・中学校PTA連絡協議会「教育講演会」	教育委員
	1 9	西山小きらきらフェスタ	教育委員
		柳津小秋まつり	教育委員
	2 3	県市町村教育委員会連絡協議会両沼支会評議員会 県市町村教育委員会連絡協議会両沼支会秋季総会・ 研修会	教育長職務代理者 教育委員
2 6	柳学中文化祭「柳輝祭」	教育委員	
1 1	8	県市町村教育委員会連絡協議会会津ブロック研修会	教育委員
	1 7	ふくしま駅伝	教育委員
	1 8	町海外派遣事業実行委員会	教育長職務代理者
1	1 0	町PTA連絡協議会新年会	教育委員
2	1 9	町いじめ問題対策連絡協議会	教育長職務代理者
3	1 3	中学校卒業証書授与式	教育委員
	2 1	小学校修了・卒業証書授与式	教育委員
	2 8	町教職員離任式	教育委員

## 5 教育委員会活動の情報発信

- ◆ 町広報誌「広報やないづ」や「やないづ教育ねっと」に掲載

## Ⅱ 教育委員会重点施策 点検・評価一覧表

II 柳津町教育委員会重点施策点検・評価一覧表

重点施策	基本事業	主な取り組み内容	達成度	事務担当
学校教育の充実	1 確かな学力の向上 (かしこい子どもに)	「確かな学力向上グランドデザイン」による学習指導 柳津町学力向上推進事業(町教研への委託) 全国標準学力検査及びリーディングスキルテストの実施	B	学校教育係
	2 豊かな心の育成 (意欲をもってやり抜く子どもに)	道徳教育、特別活動における指導 体験的活動、ボランティア活動の重視 学校図書を整備と読書活動の推進 いじめ、問題行動の早期発見、早期対応	B	
	3 健やかな身体の育成 (たくましい子どもに)	学校保健体育、部活動の指導 食育計画の作成と指導 全国体力テストの実施	B	
	4 特別支援教育の充実	教育支援委員会の開催 特別支援学級の整備	B	
	5 小・中(小・小)連携教育の 充実	小・中学校間連携教育の推進 小・小学校間連携教育の推進	B	
	6 情報教育の充実	学校教育用タブレット等ICT整備事業 情報モラル教育の推進	A	
	7 英語教育・国際理解教育の 充実	英語教育の推進 外国青年(英語指導助手)招致事業	B	
	8 教育環境・条件の整備充実	教材教具整備事業 就学援助事業 児童生徒通学費補助事業 高等学校等就学支援給付金事業 高校生奨学金貸与事業 教職員福利厚生事業 教員住宅管理事業 スクールバス運行事業 複式指導解消支援教員の配置 学校施設等改修整備事業 英語・数検・漢検検定料補助事業 夏季・放課後学習会講師派遣事業	B	

達成度 A=十分に達成 B=ほぼ達成 C=やや不十分 D=不十分

II 柳津町教育委員会重点施策点検・評価一覧表

重点施策	基本事業	主な事務事業	達成度	事務担当
生涯学習の推進	1 興味・関心を抱く学習機会の創出と町民同士の交流促進	シニアサークル「福寿学園」「養寿学園」の開催 成人学級「悠友倶楽部」の開催 料理教室の開催 その他の教室 地域文化財利活用事業	B	生涯学習係
	2 社会教育施設の設備等の充実	活性化施設「ふれあい館」管理運営事業 図書館整備事業 地区集会所施設の整備補助事業	A	
生涯スポーツとレクリエーションの推進	1 楽しさを感じるスポーツ事業の提供	各種町民スポーツ大会等の開催 県総体地域スポーツ大会への参加 ふくしま駅伝競走大会への参加 市町村対抗軟式野球大会・ソフトボール大会への参加 町体育協会運営事業 スポーツ推進委員会の開催と活動	B	生涯学習係
	2 スポーツ施設及び設備の整備充実	運動公園施設整備事業	B	
	3 指導者の確保とスポーツ団体への支援	町体育協会及びスポーツ推進委員会の活動支援 赤ベントータルスポーツの活動支援	B	
地域行事の継承、文化財の保存・活用と芸術文化の振興	1 文化財の適切な保存・管理	町指定文化財管理事業 縄文館活用事業 食文化ストーリー事業 地域・日本の新たなレガシー形成事業 文化財火災防衛訓練の実施	A	生涯学習係
	2 有識者、関係機関との連携	柳津町文化財保護審議会の開催 有識者や関係機関との協力	A	
	3 やないづ町立斎藤清美術館の充実	斎藤清展事業 県外斎藤清展推進事業 潜在的アートプロジェクト事業、地域アートプロジェクト事業 作品等収集 施設整備	B	美術館係

達成度 A=十分に達成 B=ほぼ達成 C=やや不十分 D=不十分

### Ⅲ 各重点施策の点検・評価

【学校教育の充実】

基本事業	1 確かな学力の向上(かしこい子どもに)	
取組の状況	各校において次の指導や活動・事業を実施した (1)「学力向上グランドデザイン」による学習指導 (2)柳津町学力向上推進事業(町教研への委託) (3)全国標準学力検査及びリーディングスキルテストの実施	
成果と評価	柳津小 B 西山小 A 柳学中 B	全体としての達成度
		B
次年度への課題	町全体としては、 ○ 基礎的な学力定着と、調査結果の分析に基づく読解力の育成をとおして、思考力や判断力、表現力の向上を目指すよう指導助言する。 ○ 少人数の強みやICT機器の効果的活用を生かした、きめ細かな個別最適で協働的な学びの充実を図る。 ○ 全国標準学力検査の現状値を目標値(全国平均)に達成できるよう、個に応じた補完指導を丁寧に行う。 ○ 家庭と連携したメディアコントロールの実効性を高め、家庭学習の習慣化を図る。	

基本事業	2 豊かな心の育成(意欲をもってやり抜く子どもに)	
取組の状況	各校において次の指導や活動・事業を実施した (1)道徳教育・特別活動における指導 (2)体験的活動、ボランティア活動の重視 (3)学校図書整備と読書活動の推進(図書司書2名配置) (4)いじめ、問題行動の早期発見、早期対応	
成果と評価	柳津小 B 西山小 A 柳学中 B	全体としての達成度
		B
次年度への課題	町全体としては、 ○ 「意欲」「自己肯定感」「やり抜く力」などの非認知能力の伸長を図るため、体験的活動やボランティア活動を重視する。 ○ 図書司書と教職員が連携して学校の図書室の充実を図るとともに、保護者等と連携して読書活動の充実を図るよう支援する。 ○ 家庭やスクールカウンセラー等との連携を深め、個に応じた支援により自己肯定感を高める。	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分



基本事業	5 小・中(小・小)連携教育の推進	
取組の状況	各校において次の指導や活動・事業を実施した (1)小・中学校間連携教育の推進 (2)小・小学校間連携教育の推進	
成果と評価	柳津小 A 西山小 B 柳学中 B	全体としての達成度
		B
次年度への課題	町全体としては、 ○ 学校行事のみでなく、授業実践に関する小小、小中の連携を具体化するよう学校教育アドバイザーを中心に指導助言にあたる。 ○ 保小連携のための職員・教員の交流の機会(相互訪問等)を積極的に設ける。 ○ 柳津町教育研究会を中心にして、9年間を見通した「学びをつなぐ」「育ちをつなぐ」を実現するため、地域人材を活用した体験的・探究的な学習活動の充実を図る。	

基本事業	6 情報教育の充実	
取組の状況	各校において次の指導や活動・事業を実施した (1)学校教育用タブレット等ICT整備事業 (2)情報モラル教育の推進	
成果と評価	柳津小 A 西山小 A 柳学中 B	全体としての達成度
		A
次年度への課題	町全体としては、 ○ 授業をはじめとする教育活動でICT機器及び支援員を有効活用し、個別最適な学びの実現や情報活用能力の向上を図る。 ○ SNS上での誹謗中傷やいじめ、犯罪や違法・有害情報の問題の深刻化、SNS利用の長時間化などを踏まえ、関係機関や家庭と連携し情報モラル教育を推進する。	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基 本 事 業	7 英語教育・国際理解教育の充実	
取 組 の 状 況	各校において次の指導や活動・事業を実施した (1)英語教育の推進 (2)外国青年(英語指導助手)招致事業	
成 果 と 評 価	柳津小 B 西山小 B 柳学中 B	全体としての達成度
		B
次 年 度 へ の 課 題	町全体としては、 ○ 小学校での英語教育の取組を中学校につなぎ、デジタル教科書やICT機器を有効活用し、児童生徒の英語力の向上を図る。 ○ 英語指導助手を活用し、発音や聞き取りなどの上達、また、海外の生活、文化などの紹介を通じた国際理解の充実を図る。	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	1 確かな学力の向上	
取組の状況	<p>(1) 「確かな学力向上グランドデザイン」による学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町赤ベコプランを周知し、自校のプランの共通実践</li> <li>○ 「分かった・できた・楽しい」授業の実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上につながるICT機器の活用（個別最適な学び、協働的な学び）</li> <li>・学習内容が分かるめあての提示</li> <li>・活用力育成のための練習・補充の時間確保</li> <li>・複数教員や支援員によるT・T指導、個に応じた学習</li> <li>・単元ごとの確実な「わかった・できた」子どもの把握（単元テスト、アシストシート、全国学力・学習状況調査、ふくしま学力調査）</li> </ul> </li> <li>○ 町教研「公開授業研究会」の授業実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した協働的な学びについての研究</li> <li>・主体的・対話的に学ぶ児童の育成</li> </ul> </li> <li>○ 学習の環境作り <ul style="list-style-type: none"> <li>・「赤ベコプラン」の掲示、系統性を意識した指導</li> <li>・「ノートDAY」「自主学習コンテスト」の実施</li> </ul> </li> <li>○ 家庭学習の習慣化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「家庭学習の手引き」の活用と保護者との連携（「家庭教育だより」の発行）</li> <li>・メディアコントロール週間の設定と自主学習の習慣化</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 柳津町学力向上推進事業（町教研への委託）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「主体的・対話的に学ぶ児童の育成」を目指した校内研修の充実</li> <li>○ ICT機器の効果的な活用</li> </ul> <p>(3) 全国標準学力検査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国・県学力調査を利用した補充指導</li> <li>○ アシストシート・フォローアップシートの活用</li> </ul>	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学力向上グランドデザイン」による学習指導 学習内容がわかるめあての提示、活用力育成のための練習・補充の時間確保や児童の学習意欲を高めるICTの効果的な活用ができた。</li> <li>○ 教務や支援員によるT・T指導や個に応じた指導により、つまずき克服のための個別指導に重点をおいて指導した。</li> <li>○ 家庭学習の手引きやICTを活用し、家庭と連携して家庭学習の習慣化を図った。</li> <li>○ 全児童に配付されたICT機器を効果的に活用して、児童同士の学び合いと一人一人の児童の深い学びを実現するように努めてきた。</li> <li>○ ノートDAYや自主学習コンテストを実施することで、より良いノートの作り方や学習の進め方を広めることができた。</li> </ul>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「授業スタンダード」や「赤ベコプラン」を活用して、日々の授業をさらに充実させるとともにT・Tによる指導や支援員の活用等により個に応じたきめ細やかな指導を一層充実させ学力の向上を図る。また、協働的な学びをさらに推進し、学び合う意識を高める。</li> <li>○ 効果的なICT機器の活用場面を考え、非ICTとのベストミックスを考えながら指導方法を検討していく。</li> <li>○ アシストシートや活用力育成シートを各学期に効果的に活用し、基礎学力の確かな定着と活用力の育成に努める。</li> <li>○ 学年に応じてICTを適宜活用したり、家庭学習や自主学習の取り組み方について家庭との連携を密にしたりしながら、家庭学習の充実を図る。</li> <li>○ 読解力を高める方策についての研修を行い、日常の授業に取り入れることができるようにする。</li> </ul>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	2 豊かな心の育成	
取組の状況	<p>(1) 道徳教育、特別活動における指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳の授業の充実と日々の道徳的実践力の向上</li> <li>○ 道徳教育指導内容の日常的な活用</li> <li>○ 自主的・自律的な態度並びに互いに賞賛し合える態度の育成</li> <li>○ 自己理解の推進と自己存在感や自己肯定感の向上</li> <li>○ 人権教育の充実</li> </ul> <p>(2) 体験的活動、ボランティア活動の重視</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 米づくり体験活動（4・5年） ※JA、農青連の協力</li> <li>○ 森林環境学習（全学年） ※町農林振興班の協力</li> <li>○ 町小学校合同宿泊学習（5年）、合同修学旅行（6年）</li> <li>○ 各教科、総合的な学習、生活科における体験的活動（各学年） <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の観光、歴史、町探検、見学、調査等</li> <li>・遠足における豊かな体験活動（1～4年）</li> <li>・西山小との交流学习の充実（ICTを活用したオンライン交流）</li> </ul> </li> <li>○ 小中合同除草、ごみ拾い</li> </ul> <p>(3) 学校図書整備と読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年間を通じた読書冊数の向上・図書室来室児童数の向上</li> <li>○ 各学年の読み聞かせの実施（町読み聞かせボランティアの活用）</li> <li>○ 図書館教育担当教員と図書館司書の連携による読書意欲の喚起 <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書キャンペーンの実施</li> </ul> </li> <li>○ 各学年の必読書の設定と読書マラソン及び家読の推進</li> </ul> <p>(4) いじめ、問題行動の早期発見、早期対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教育相談（児童年3回、保護者年1回）といじめアンケートの実施</li> <li>○ QUを活用した実態把握と課題に基づく指導・人間関係の改善、SCとの連携</li> </ul>	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人権擁護委員の協力により、2・5学年において人権への理解を図る授業を実施することができた。</li> <li>○ 秋まつりやファミリー学級では、各学年の学習成果を伝えたり、地域人材の協力を得ながら工夫して学習を展開することができた。</li> <li>○ 遠足、宿泊学習、修学旅行では、豊かな体験活動によって知見を広げることができた。</li> <li>○ 読書に関する様々なキャンペーンを実施することで、図書室来室数と読書冊数を向上に努め、家庭との連携を図ることができた。</li> <li>○ いじめ問題や児童の様々な問題について、学校全体で共有を図り、教職員と家庭とが連携して、早期発見・早期対応による解決に向けた組織的な取り組みを実施することができた。</li> <li>○ 町役場や中央公民館と連携し、地域素材を扱った学習を推進した。</li> </ul>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人権擁護への関心を高めるために、人権教育の授業を全学年で実施する。</li> <li>○ 学校と保護者との連携により、家庭での読書活動の充実を図る。</li> <li>○ メディアコントロール等への取り組みを通し、児童の自己マネジメント力を高める指導を継続する。</li> <li>○ QU検査等客観的な資料をもとに学級力の向上を図るとともに、児童一人ひとりを認め・誉め・励ます声かけと児童と教師の対話を組織的に行うことで積極的な生徒指導を充実させ、自己肯定感・非認知能力の向上を図る。</li> </ul>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	3 健やかな身体の育成	
取組の状況	<p>(1) 学校保健体育、部活動の指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運動への意欲や技能を高める授業の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「運動身体作りプログラム」の実践</li> <li>・業間のマラソンや縄跳びの取り組み</li> </ul> </li> <li>○ 運動会や水泳学習、マラソン記録会へ向けての教科体育の充実</li> <li>○ 外部人材の活用（外部指導員、中学校教諭、特別非常勤講師による指導）</li> <li>○ う歯の治療率を高めるための保護者との連携               <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯磨きカレンダー、カラーテスターの実践</li> <li>・保護者への啓発</li> </ul> </li> <li>○ 肥満傾向児童への個別支援と外部機関との連携（個別指導・体組成検査）</li> <li>○ 町小・中学校合同による学校保健委員会の実施</li> </ul> <p>(2) 食育計画の作成と指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「朝食摂取率100%週間」運動の実施（6月、11月）</li> <li>○ 「全国学校給食週間」での取り組み               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「給食の歴史」の紹介、特別献立の実施など</li> </ul> </li> <li>○ 「自分で作るお弁当の日」（年2回）の実施</li> </ul> <p>(3) 全国体力テストの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新体力テストの結果分析と体力向上推進計画を踏まえた指導の充実</li> </ul>	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「運動身体作りプログラム」を授業の始めに取り入れ、基礎的な動作を身に付けることができるよう全校で取り組んだ。</li> <li>○ 運動会や水泳学習、マラソン記録会では、児童が自己のめあてを持って意欲的に練習に取り組み、成果を上げることができた。</li> <li>○ 中学校教諭や海洋センター職員、会計年度任用職員（特別非常勤講師）の指導による陸上やボール運動、表現活動（ダンス）を実施できた。</li> <li>○ 栄養教諭と連携しながら食育指導について継続的に取り組んできた。朝食調べ等を活用し、食べ方や偏食について指導を続け、改善が見られるようになった。</li> <li>○ 「自分で作るお弁当の日」を実施した結果、家族と一緒に意欲をもって楽しんで作る児童が多くなった。</li> <li>○ 体力テスト結果を分析し、教科体育の指導に生かすことができた。</li> </ul>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新体力テストの結果をもとに課題を分析し、体力向上推進計画を基にした教育課程の策定と重点的な指導に努める。</li> <li>○ 教科体育の充実を核として継続的に体力・運動能力の向上に努める。</li> <li>○ 栄養教諭との連携を図った食育の授業実践を進める。</li> <li>○ 肥満傾向をもつ児童や偏食が見られる児童について、学校における食育及び給食指導を中心に、家庭へも呼びかけ、連携を図りながら継続的に指導する。</li> <li>○ 日課表に位置付けたマラソントime（冬期間はなわとび）を実践することで、体を動かす機会を増やし体力や運動能力を高める。また、体力向上推進計画を全職員で共通理解し課題改善に向け共通実践する。</li> </ul>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	4 特別支援教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 教育支援委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特別支援学級の在籍児童及び次年度特別支援学級入級希望者の情報提供</li> <li>○ 各児童の情報及び専門委員による観察結果をもとにした就学に係る審議               <ul style="list-style-type: none"> <li>・在籍児童（自閉・情緒障がい学級）… 1学年 男児1名 4学年 男児2名 5学年 男児1名 6学年 女児1名</li> </ul> </li> <li>○ 特別支援教育委員会の定期的な開催と特別な支援を要する児童の支援状況についての共通理解</li> </ul> <p>(2) 特別支援学級の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日程を確認するためのホワイトボード設置など、教室環境の整備</li> <li>○ 児童への日々の指導支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学級担任と学校支援員の協力による指導</li> <li>・教科別での交流学級との学習・生活の交流</li> <li>・通常学級在籍児童の取り出し指導</li> </ul> </li> <li>○ 外部機関や保護者との連携・協議               <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所、町教育支援委員会、医療機関との連携</li> <li>・保護者との懇談と共通理解</li> </ul> </li> <li>○ 実態に応じた教育課程の編成</li> </ul>	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校支援員や担任外教員が通常学級における特別な支援を要する児童の指導支援にあたり、取り出し指導を行ったりすることにより、児童一人一人のニーズに応じたきめ細かな指導支援や担任のサポートを行うことができた。</li> <li>○ 担任と管理職が協力して支援を要する児童やその保護者に対し、組織的に対応し、就学指導を進めることができた。</li> <li>○ 校内特別支援・就学指導委員会を定期的開催することで情報を共有し組織的に対応することができた。また、SCに授業参観やカウンセリングをしてもらうことで、児童の実態把握ができた。</li> </ul>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;"><b>B</b></p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 個別の指導計画や支援計画に基づき、計画的な指導・支援を行い記録簿を累積する。</li> <li>○ 必要に応じてSSW、SC、町保健師、養護学校、会津教育事務所、医療機関などの関係機関との連携を図り、適切な就学指導に努める。</li> <li>○ 通常学級に在籍する特別な支援を要する児童への指導方法等を検討し組織的な取組をする。</li> <li>○ 保育所・中学校との連携を取り、就学前や卒業後の情報交換を行うことで、切れ目のない一貫した指導の充実を図る。</li> </ul>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	5 小・中連携教育の推進	
取組の状況	<p>(1) 小・中学校間連携教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小中連携授業参観の実施 (校内研究における授業を通して)</li> <li>○ 小中連携協議会実施</li> <li>○ 合同避難訓練、合同除草、合同ボランティアの実施</li> <li>○ 6年生の中学校体験学習の実施 (年1回)</li> <li>○ 「町教研公開授業研究会」での授業実践と参観             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3、5年生によるICTを活用した授業実践</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 小・小学校間連携教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 宿泊学習事前学習会</li> <li>○ 合同宿泊学習</li> <li>○ 修学旅行事前学習会</li> <li>○ 合同修学旅行</li> <li>○ オンライン朝交流の実施 (年間)</li> </ul>	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 5・6年生は年間を通して朝交流を行い、宿泊学習や修学旅行前の意識を高めるとともに、6年生は中学校進学にむけた交流を図ることができた。</li> <li>○ 授業交流を通して、ICT活用に関する共通認識を深めることができた。</li> <li>○ 柳津学園中学校とは合同除草・ボランティアを実施し、児童生徒の協力意識を高めることができた。</li> <li>○ 合同宿泊学習・修学旅行を実施することで、中学校進学へ向けた仲間意識を高めることができた。また、オンライン交流を通して児童相互の交流を深めることができた。</li> </ul>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小中連携については、中学校と相談し、合同避難訓練や合同除草、合同ボランティアの時期を工夫して教育課程を作成する。</li> <li>○ 西山小学校との交流については、中学校への進学に向けてスムーズな学校生活を実施するための交流を継続していく。</li> <li>○ 低学年を中心とした保育所との交流・連携を実施する。</li> <li>○ 小中連携の視点で、校庭等の施設管理・安全管理を協力して行う。</li> </ul>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	6 情報教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 学校教育用パソコン等 ICT 整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ICT 機器の効果的な活用と授業の充実・改善</li> <li>○ デジタル教科書の活用と i p a d の活用による学習の効率化</li> <li>○ ICT 機器の活用による、児童一人ひとりの習熟度や学習速度に応じたきめ細やかな指導の充実</li> <li>○ i p a d を活用した研究授業・互見授業の実施</li> <li>○ 関係機関との連携による環境整備の充実</li> <li>○ ICT 支援員による授業支援と事前準備</li> <li>○ プログラミング学習の充実</li> </ul> <p>(2) 情報モラル教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学級活動や道徳の授業を生かした情報モラル意識の向上</li> </ul>	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ICT 機器を学習に効果的に活用することで、児童相互の学び合いと一人一人の深い学びを実現することができた。</li> <li>○ 学級活動や道徳等で随時情報モラルについての指導を継続することによって、メディアを適切に活用しようとする意識が見られた。</li> <li>○ 教員の ICT 活用に関するスキルを高めることができた。</li> <li>○ プログラミングの研修を行ってきたことで、各学年で ICT 支援員と連携し、計画的にプログラミング学習を行うことができた。</li> </ul>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童や教師が身につけた ICT 活用スキルをさらに有効に活用するために、日々の授業実践と校内の研究授業・互見授業を行い、児童の主体的・対話的で、深い学びの実現を目指していく。また、ICT と非 ICT とのベストミックスについては、今後も検証を深めていく。</li> <li>○ 西山小学校と連携して、高学年を中心に ICT を活用したオンライン交流や合同授業を実施する。</li> <li>○ プログラミング教育の全体計画をもとに、各学年での教科・単元での実践記録を累積する。</li> </ul>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基 本 事 業	7 英語教育・国際理解教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 英語教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 担任とALTの連携による効果的な授業実践</li> <li>○ ICTを活用した実践的な英語授業</li> <li>○ 定期的な自己の振り返り</li> </ul> <p>(2) 外国青年（英語指導助手）招致事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ALTと連携した外国語・外国語活動の授業充実</li> <li>○ 外国の文化、生活に触れる体験活動の実施</li> </ul>	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ALTとのTT授業を行うことで、発音やイントネーションなど、生の音声英語に触れながら、英語でコミュニケーションを図る楽しさを味わうことができた。</li> <li>○ ICT機器を有効に利用し、自分の発音を録音・再生することでより良い発音への意識を高めることができた。</li> <li>○ ALTの外国での生活様式や学校生活などを知ることにより、他国の文化を理解する良い機会となった。また、教科横断的な学習により、日本文化を再認識することもできた。</li> </ul>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;"><b>B</b></p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外国語と外国語活動の指導内容や方法について、英語指導助手と担任で連絡を密に取り合い、児童への指導効果がさらに上がるようにする。</li> <li>○ ICT機器を使った学習を継続するとともに、より効果的な学習方法を考え実践する。また、アルファベットに親しむ活動の充実を図る。</li> <li>○ 担任も積極的に英語を話すスキルを身につけられるよう研修を推進する。</li> </ul>	

基本事業	1 確かな学力の向上 (かしこい子どもに)	
取組の状況	<p>(1) 「確かな学力向上グランドデザイン」による学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ふくしまの「授業スタンダード」、柳津町の「赤ベコプラン」をもとに、本校の学力向上グランドデザインを作成し、共通実践を重ねてきた。とくに、児童が主体的に活動する時間と振り返りの時間の確保に重点を置き、授業改善に努めてきた。</li> <li>○ 家庭学習の充実とメディアコントロールを目指して、家庭学習の手引きを活用して家庭学習での約束事や家読の取り組み方、メディアコントロールの大切さについて、保護者と共通理解のもと、連携することができた。</li> </ul> <p>(2) 柳津町学力向上推進事業 (町教研への委託)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町教研の研究主題を受けた校内の授業研究を行うとともに、柳津小学校で行われた町教研公開授業への参加、柳学中で行われた ICT 活用のための授業提供への参加を通して、多くの学びを得ることができた。</li> </ul> <p>(3) 全国標準学力検査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実施に向けて、夏季休業および冬季休業時に国語科・算数科の復習に力を入れて定着を図ってきた。また、個の学習状況を分析し、課題となる部分について教員間で情報を共有することで、年度をまたぐ指導へとつなげられるようにした。</li> </ul>	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年間をとおして児童が主体的に活動する時間と振り返りの時間を確保することを重点化して取り組むことで、学習に対する主体性や言語活動の充実が見られた。特に、5・6年生でスクールタクトを活用した振り返りには児童の主体性が際立って見られた。</li> <li>○ 町教研主催の柳津小学校の授業公開では、事後研において成果や課題など、校内だけではできない充実した話し合いをすることができた。中学校の授業提供からは ICT の活用等、小中連携の視点から学ぶことができた。</li> <li>○ NRTの結果については、国語・算数ともに全国平均を上回り、国語においては前年度より伸びが見られた。個の課題に応じた学習支援を継続してきた成果である。</li> </ul>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語・算数の教科における個別の課題について定着を図るとともに、リーディングスキルに視点に基づいた学習指導を継続していきたい。</li> <li>○ 現職教育として位置づけられた校内授業研修だけでなく、積極的に教員相互の互見授業を増やしていきたい。</li> <li>○ 極少人数のため、多様な考えに触れることができず、思考の広がりを持たせることが難しい。思考力・表現力を高めるための手立てを考えていく。</li> <li>○ 家庭と連携したメディアコントロール、うちどくの取組をとおして、家庭学習の充実を図る。</li> </ul>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	2 豊かな心の育成 (意欲をもってやり抜く子どもに)	
取組の状況	<p>(1) 道徳教育、特別活動における指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 様々な道徳的価値についての理解を基に、自己を見つめ、道徳的判断力、心情、実践意欲を高めてきた。特別活動では縦割り活動によって下級生を思いやる心情や自主的に活動する態度を育成することができた。</li> </ul> <p>(2) 体験的活動、ボランティア活動の重視</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健幸クラブとの交流をとおして、高齢者の立場になって考えることや喜んでもらえるためにできることを考える機会になり、地域の方々との関わりを深めることができた。</li> <li>○ 総合的な学習の時間に、きらきらフェスタにむけた太鼓の練習を重ねてきた。西山地区の各所から太鼓を借用し、「ぶち合わせ太鼓」として発表することができた。さらに別日を設け、健幸クラブや地域の方に向けた発表会を開催した。</li> </ul> <p>(3) 学校図書整備と読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 図書館司書を中心に図書室の読書環境の充実に努めてきた。やないづ学校運営協議会でも話題になったが、児童が本を手にとりやすい工夫や、時節に合わせたコーナー作成、児童主体のポップづくりなど年間をとおして取り組んだ。</li> </ul> <p>(4) いじめ、問題行動の早期発見、早期対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 定期的な教育相談だけでなく、日頃から児童とのコミュニケーションを密にすることで、いじめの未然防止や早期発見に努めた。問題発見時には積極的に認知し、全職員で組織的に対応できるよう、いじめ対策委員会で協議した。</li> </ul>	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学んだ道徳的価値について、特別活動や他の教科においても関連させながら、よりよく生きるための基盤づくりを進めることができた。</li> <li>○ 太鼓の発表は回覧版を使って周知したこともあり、多くの方が足を運んでくれた。学校と地域のつながりをつくる1つのイベントとなった。児童も地域に貢献できる喜び、所属感・達成感をもつことができた。</li> <li>○ 学校では様々な本を手にする機会は増えている。</li> <li>○ 問題発見時には職員間の情報共有、保護者への連絡、教育委員会への報告など組織的に対応できた。</li> </ul>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新1年生がいないため、下の学年の面倒をみるという西山の児童の良さを途切れさせないようにする。</li> <li>○ 太鼓の演奏の際の児童数の減少。令和6年度のような迫力ある演奏にするには難しい。令和7年度の児童の演奏が、自分たちで納得できる演奏、達成感を味わえるか。</li> <li>○ 学校においては、読書を楽しむ習慣ができているので、家庭でも読書できるような働きかけの工夫が必要である。</li> </ul>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	3 健やかな身体の育成 (たくましい子どもに)	
取組の状況	<p>(1) 学校保健体育、部活動の指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体育科の授業においては、主運動の前に運動身体づくりプログラムを確実に実施し、基礎体力の向上に努めてきた。また少人数でゲーム(ボール運動)が困難な場合には、複数学級で授業を行う等の工夫をしてきた。</li> <li>○ 水泳の学習では、6月・7月に特別非常勤講師としてスイミングスクールのコーチを招へいし、水泳の技能に応じた基礎的な練習の仕方を学んだ。</li> </ul> <p>(2) 食育計画の作成と指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎日、全校生が食堂で給食を食べるので、食事のマナーや配膳の仕方を身につけられるように指導してきた。献立に関する情報についても毎回紹介することで、食文化に触れることができるようにしている。フードロス削減に向けて、食べ残しゼロを目指して取り組んだ。</li> </ul> <p>(3) 全国体力テストの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前年度に実施した新体力テストの結果をもとに「体力向上推進計画書」を作成し、体育の授業だけでなく業間体育(杉っ子タイム)の10分間で体力向上に努めてきた。</li> </ul>	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体育科の授業において、運動身体づくりプログラムの実施と主運動の運動量の確保ができており、児童が運動する楽しさを感じながら学習することができた。</li> <li>○ 食育として給食を食べる際に、よく噛んで食べることの指導や好き嫌いをしないで食べるができるように指導してきた結果、ほとんど残食がなかった。</li> <li>○ 年間をとおして業間運動(杉っ子タイム)を継続してきたことで、体力の高まりを実感させることができた。新体力テストの結果を自分手帳に記録し、個人の課題や目標について振り返ることができた。</li> </ul>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 極少人数のため、体育の時間にゲーム(ボール運動)が実施しにくい。複数学級で実施することで解消してきたが、それでもチームスポーツの実施は難しい。人数が少ない利点を生かし、個々の実態に応じた内容や運動を取り入れて運動に親しみながら体力向上に努めたい。</li> <li>○ 業間体育だけでなく、昼休みや放課後など自由に遊ぶ楽しさを感じさせたり、運動する習慣を身につけさせたりできるように、休み時間や放課後にゆとりを持たせたい。</li> </ul>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	4 特別支援教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 教育支援委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校内教育支援委員会で情報を共有し、町の教育支援委員会へ1件情報提供をした。</li> <li>○ 学習面では文字の読み書きに難はあるが、1年間の学習を通して読み書きできる字が増えてきた。アニメのキャラクターの名前を用いた支援など効果があった。</li> </ul> <p>(2) 特別支援学級の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特別支援学級の設置なし。</li> </ul>	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 支援が必要な児童に対して、教育相談や保護者との面談から寄せられた情報と、医療機関を受診した際の診断結果から個の特性を理解し、合理的配慮ができるように対応してきた。</li> <li>○ 本校は極少人数のため、手厚い支援を講じることができるため、意欲をもって学習に臨むことができている。</li> <li>○ 学習面では文字の読み書きに難はあるが、1年間の学習を通して読み書きできる字が増えてきた。アニメのキャラクターの名前を用いた支援など効果があった。</li> </ul>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;"><b>B</b></p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 支援の必要な児童に対して、今年度作成した個別の教育支援計画の実態を踏まえて見直すとともに、学校生活の様子、教育相談、保護者との面談、小児科医の診断をもとに個別の指導計画の作成を進めていきたい。</li> <li>○ 学習内容を定着させるための支援の手立てを増やしていく。</li> </ul>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	5 小・中 (小・小) 連携教育の推進	
取組の状況	<p>(1) 小・中学校間連携教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町教研連携部会を中心に中学1年生が西山小を訪問し、体育館での交流会を行った。中学生が西山小の児童が喜ぶように企画を考えて楽しませてくれた。終了後、ロードフラワーの花壇に中学生と一緒に花の苗植えを行った。</li> <li>○ 中学校体験入学に参加し、中学校の授業の様子を参観するとともに部活動の見学やスクールバスの乗車体験を行った。中学進学への期待を高め、不安を解消できるようにした。</li> <li>○ 校内駅伝大会へ中学生が伴走者として参加してくれたことで、小学生の良い目標・憧れとなった。</li> </ul> <p>(2) 小・小学校間連携教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 合同修学旅行、合同宿泊学習をとおして、5・6年が各班に分かれ、班別研修の計画を立てることや、自然の家のプログラムで協力して活動した。</li> <li>○ 5・6年生が町の水泳記録会、陸上記録会に参加し、競技を通じて交流を図った。</li> <li>○ 1～4年生は1学期に西山小での交流学习、2学期に柳津小での交流学习を行った。</li> <li>○ 朝交流として、5・6年生が Zoom を使って交流してきた。</li> </ul>	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中学校との連携では、中学生が西山小の児童のために企画した交流会は児童にとって新鮮で楽しいものになった。ロードフラワーでの花の苗植えでは、中学生と協力しながら活動する経験ができた。</li> <li>○ 柳津小との交流では、1年から4年生までの積み重ねにより、互いに知っている中で交流できている。5年生から集団宿泊的行事で2日間一緒に活動することで、中学校で一緒に学ぶ仲間という意識が高まった。</li> </ul>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;"><b>B</b></p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小・中連携では中学校への接続という目的があるが、中学生に西山地区を知ってもらうことにもつなげていけるように計画したい。</li> <li>○ 環境奉仕作業の際に中学生、中学校の先生にも西山で参加してもらいたい。</li> </ul>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	6 情報教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 学校教育用パソコン等 ICT 整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全ての教科でタブレット端末を活用しており、その用途も資料集めや発表資料、職員と児童の資料共有、オンライン学習、データ保存など様々な場面で使用してきた。</li> <li>○ 自分の考えを可視化し共有することで話し合いにつなげてきた。</li> <li>○ 家庭学習においても、学習の記録の累積や提出課題の確認、欠席時の必要な資料の配付にも役立てた。</li> </ul> <p>(2) 情報モラル教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の道徳科では情報モラルについて 1 時間程度取り扱っており、外部講師を招いた情報モラル教室を実施した。</li> <li>○ 懇談会では SNS との関わり方やゲーム内のチャットについて保護者に注意を呼び掛けた。</li> </ul>	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ICT 支援員のサポートにより教職員の ICT に関するスキルは年々高まってきている。</li> <li>○ 児童の ICT スキルについては数年間ロイロノートを継続して使用していることにより、操作にも慣れ、文房具としてタブレット端末を利用できている。</li> <li>○ メディアコントロールの必要性やフィルタリング、SNS トラブルについても注意喚起することができた。</li> </ul>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ タブレット端末の活用を積極的に進めていくが、文字や文章を書く機会が減ることで、漢字を読む・正しく書くなどの定着が乏しくならないように意識して授業を行いたい。</li> <li>○ 情報モラルは継続的に児童や保護者に働きかけていく必要がある。懇談会や個別面談等で、個に応じて支援していく必要がある。</li> <li>○ 年度が替わり、新しく入った職員への ICT スキルのサポート。</li> </ul>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基 本 事 業	7 英語教育・国際理解教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 英語教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 5・6年生の外国語科では、少人数だからこそできる発音練習の反復や文字の書き取りなどを個別に指導してきた。3・4年生の外国語活動では、基本的な会話の練習だけでなく、外国の文化にも親しみながら学習してきた。1・2年生については、配当時数はないが、毎月1時間程度外国語に触れる時間を設定し、簡単なあいさつや外国の文化に触れる機会とした。</li> <li>○ 人数が少ないため、同じ相手との反復練習にならないように、学習したことを英語で職員に紹介したり質問したりする活動を取り入れた。</li> </ul> <p>(2) 外国青年（英語指導助手）招致事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 昨年度末から引き続きオサマ先生に毎時間助手として支援をもらいながら授業を進めてきた。外国語によるコミュニケーション能力を高めるために、発音や英語での会話を繰り返し練習してきた。</li> </ul>	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童の習得できた英単語が増え、会話のやり取りも技能が高まっている。外国の文化に触れながら、英語の歌や会話の仕方を身につけ、繰り返してきたため、意欲も高い。</li> <li>○ ALTは、外国語だけでなく日本の言葉や文化にも理解があるため児童への支援も分かりやすい。</li> </ul>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center;"><b>B</b></p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コミュニケーションの場の設定の工夫。</li> </ul>	

基本事業		1 確かな学力の向上 (かしこい子どもに)																										
取組の状況	<p>(1) 「確かな学力向上グランドデザイン」による学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研究主題「主体的・協働的な学びを通して、新しい未来を創造することができる生徒の育成～生徒の実態をふまえた学習活動と振り返りの工夫～」に基づく学力向上に向けた取組</li> <li>○ 家庭学習の充実</li> </ul> <p>(2) 柳津町学力向上推進事業 (町教研への委託)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全体研修会や学力向上研修会の実施や小中学校相互の授業参観</li> </ul> <p>(3) 全国標準学力検査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国標準学力検査の結果分析と課題の共有、補充指導</li> </ul>																											
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域素材や地域の人材を活用するなどして導入を工夫したことで、授業への興味・関心が高まり、主体的な学びにつなげることができた。</li> <li>○ スクールタクトなどの学習支援ソフトの活用により、生徒一人一人が自分の考えを表現し、それをもとに協働的な学習を行ったり、自分の考えを広げたりすることができ、深い学びにつなげることができた。</li> <li>○ 定期テスト前の家庭学習計画の実施や教科担当者による自主学習ノートの確認、放課後学習会、年5回の学力コンテストの実施などを行うことで、学習意欲や家庭学習の充実を図ることができた。</li> <li>○ 本校での EdTech 部 ICT 授業研究会や岩根小学校菅野千恵教諭を招いての学力向上研修会 (RST の視点を生かした授業づくり) の実施により、授業力の向上や授業改善につなげることができた。</li> <li>○ 授業スタンダードチェックシートを活用して、観点ごとに振り返ることで授業の改善につなげることができた。</li> <li>○ 教科の結果分析により課題を共有し、補充指導と年度末・始休業の課題について精選を図り、次年度につながるような課題設定を行うことができた。</li> <li>○ 「よむYOMUワークシート」を週1回活用して、読解力の向上につなげた。</li> <li>○ 全国標準学力検査 偏差値平均</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>48.8</td> <td>50.6</td> <td>48.1</td> </tr> <tr> <td>社会</td> <td>47.9</td> <td>47.4</td> <td>48.9</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>48.3</td> <td>47.0</td> <td>48.6</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>51.8</td> <td>47.0</td> <td>45.6</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>45.1</td> <td>44.8</td> <td>45.2</td> </tr> </tbody> </table>				1年	2年	3年	国語	48.8	50.6	48.1	社会	47.9	47.4	48.9	数学	48.3	47.0	48.6	理科	51.8	47.0	45.6	英語	45.1	44.8	45.2	達成度
	1年	2年	3年																									
国語	48.8	50.6	48.1																									
社会	47.9	47.4	48.9																									
数学	48.3	47.0	48.6																									
理科	51.8	47.0	45.6																									
英語	45.1	44.8	45.2																									
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒の問いや考えをつなぐ教師のコーディネート力、指導力の向上や教師主導からの脱却などが必要である。</li> <li>○ 授業や家庭学習における ICT の効果的な活用について、引き続き校内研修等を行う。</li> <li>○ 授業参観や保護者会、三者面談などを通じて、生徒一人一人の実態、課題について家庭と共通理解を図り、家庭学習の充実に向けた連携をさらに図っていく。</li> <li>○ 各検査に向けて過去問の実施など事前指導を強化していく。</li> <li>○ 各検査結果から本校の課題を把握し、授業の改善に取り組んでいく。</li> <li>○ RST の実施や授業等での読書活動の充実を図り、教育活動全体を通して読解力向上に向けた取組を行っていく。</li> </ul>																											

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

[ 生きる力を育む学校教育の充実 ]

(学校名 会津柳津学園中学校)

基本事業	2 豊かな心の育成 (意欲をもってやり抜く子どもに)	
取組の状況	<p>(1) 道徳教育、特別活動における指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳教育推進教師を中心とした道徳教育の推進</li> <li>○ 全校道徳やローテーション道徳の実施など指導方法の工夫</li> <li>○ 生徒会活動の充実</li> <li>○ 朝鑑賞による非認知能力の伸長</li> </ul> <p>(2) 体験的活動、探究的な学習、ボランティア活動の重視</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 修学旅行や校外学習の実施</li> <li>○ 地域ボランティア活動や小中連携によるボランティア活動の実施</li> <li>○ 地域の人材や施設を活用した教育活動の実施</li> </ul> <p>(3) 学校図書 of 整備と読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 朝の読書の実施 (年間を通して)</li> <li>○ 生徒会図書委員会による読書活動推進に向けた取組や図書室の環境整備の充実</li> <li>○ 国語科と文化史でのビブリオバトル (おすすめの本の魅力を紹介し合う) の実施</li> </ul> <p>(4) いじめ、問題行動の早期発見、早期対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒指導委員会を中心とした組織的な対応とスクールカウンセラーとの連携</li> </ul>	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳の授業では、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える授業の充実に努めた。</li> <li>○ 全校道徳や校長による道徳授業、ゲストティーチャーを招いての人権講話、スクールカウンセラーによる授業を行い、人間としての生き方について考えを深めることができた。</li> <li>○ 小中合同ごみ拾いボランティアにより生徒の自主性を育むことができた。</li> <li>○ 伝統文化学習や郷土料理学習、縄文館訪問などの地域連携により、学校全体で地域理解を深めることができた。</li> <li>○ 学校司書と図書委員による連携を図りながら、新しい図書の紹介や読書活動の啓蒙を行うことができた。</li> <li>○ 国語科の授業の中でも読書活動を推進することができた。</li> <li>○ 毎週の生徒指導委員会や特別支援委員会を通して情報交換に努めた。また、報告・連絡・相談・確認を密にして組織的に対応した。</li> <li>○ スクールカウンセラーによる個別面談や助言をもとに、個に応じた支援をすることができた。</li> <li>○ 良寛和尚についての講話により、柳津町の伝統と文化を尊重する態度を育てることにつながった。</li> </ul>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 朝鑑賞を月 1 回実施して、非認知能力を高めていく。</li> <li>○ 認知症サポートキャラバンを道徳の授業の中で実施していく。</li> <li>○ 体験的な活動や探究的な学習を通して自己肯定感を高めていく。</li> <li>○ 小中合同ごみ拾いボランティアなど、ボランティア活動を積極的に推進していく。</li> <li>○ スクールカウンセラーによる全校生の面談を実施していく。</li> </ul>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業		3 健やかな身体の育成 (たくましい子どもに)	
取組の状況	(1) 学校保健体育、部活動の指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 個別トレーニングメニューの作成と活用</li> <li>○ 保健体育の授業や部活動への積極的な参加と運動に対する意欲や技能の向上</li> <li>○ 健康や安全への関心の向上と自己管理</li> </ul> (2) 食育計画の作成と指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「お弁当づくり」の実践による食理解の推進</li> <li>○ 「朝食について見直そう週間」運動の推進</li> <li>○ ふくしまっ子健康・体力「自分手帳」を活用しての食育・健康指導</li> </ul> (3) 全国体力テストの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新体力テストの結果分析により課題を共有し、体力の向上に努めた。</li> </ul>		
	成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コース別による朝の全校ランニングや夏季休業中の1、2年生の体力作り、駅伝練習、常設部の練習などにより総合的な体力向上を図ることができた。</li> <li>○ 自己の生活の振り返りによる課題の明確化と生徒、保護者へ必要な情報を提供することができた。</li> <li>○ 新体力テストや朝食等のアンケートにより、生徒の実態を把握し、適切な指導を行うことができた。</li> <li>○ 新体力テストの結果分析により課題を共有し、保健体育の指導にいかすことができた。</li> <li>○ 新体力テストA段階の生徒が女子に多く8名である。男子は1名である。</li> <li>○ フッ化物洗口を実施し、虫歯有病者率や一人平均虫歯数の低減に努めた。</li> <li>○ 薬物乱用防止教室や性に関する学習を通して健やかな身体の育成を図った。</li> </ul>	達成度
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 薬物乱用防止教室や性に関する学習をさらに充実させ、健やかな身体の育成を図る。</li> <li>○ 各個人の伸び率を重視し、保健体育の授業や運動部活動における十分な運動量の確保や授業と校内外における体育的活動との積極的な連携を図っていききたい。</li> <li>○ スポーツ少年団指導者と連携し、トレーニング内容の確認をしていききたい。</li> <li>○ 肥満傾向の生徒への対応について、保護者と連携して改善に努める。</li> <li>○ 走力や敏捷性、筋力に課題が見られるため、「走る時間」の絶対量の確保とアジリティートレーニングの強化を図っていく。</li> <li>○ 不審者侵入を想定した避難訓練を実施し、危険を回避し安全な行動をとることができる生徒を育成したい。</li> </ul>		

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	4 特別支援教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 教育支援委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教科等における実態把握とその内容の共有</li> <li>○ 支援が必要な生徒に関する本人や保護者の意向を含めた支援策の検討</li> </ul> <p>(2) 特別支援学級の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 通常学級の教室同様の設備を確保した学習環境の整備</li> <li>○ 担任や学校支援員を中心としたきめ細かな指導</li> <li>○ 本人の学力に応じた学習課題を設定</li> <li>○ 必要に応じた社会性や基本的生活習慣についての指導</li> </ul>	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校内支援委員会を中心に、支援が必要な生徒について、全職員で共通理解を図ることができ、指導の一貫性を図ることができた。</li> <li>○ 保護者との話し合いや関係機関との連携することで、生徒を多方面から支援することができる体制を整えることができた。</li> <li>○ 今年度は、1年生1名、2年生2名、3年生1名について実態把握と支援策の検討を行った。</li> <li>○ コース別学習など個に応じた指導を行うことにより、学習意欲が高まった。</li> <li>○ 自立活動や部活動の場面において、基本的生活習慣が身につけられる場面を多く設定できた。</li> </ul>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中学校に入学してからの保護者への説明や検査に時間を要することがあるため、特別な配慮を要する児童のアセスメントや情報交換、共通理解を小学校段階から確実にを行い、小学校と中学校の引継ぎを円滑にしたい。</li> <li>○ 必要な支援方法や保護者相談等を早期に実施できる体制を構築していきたい。</li> <li>○ 生徒の実態に応じて授業時数を弾力的に運用していきたい。</li> <li>○ 特別支援学級（情緒）が新設となるため、教室の新設や教員の配置などを含め、見直しをもって準備を進めたい。また全教職員で特別支援学級（情緒）の支援をしていきたい。</li> </ul>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	5 小・中（小・小）連携教育の推進	
取組の状況	1) 小・中学校間連携教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現職教育や町教研授業研究部を中心とする研究授業や授業の参観及び意見交換、研究協議</li> <li>○ 西山小とのロードフラワー運動の展開</li> <li>○ 西山小学校との交流学习の実施</li> <li>○ 柳津小との合同避難訓練やごみ拾いボランティア，除草ボランティアの実施</li> <li>○ 柳津小、西山小への各種検定試験の紹介と実施</li> <li>○ 小学校6年生が中学校を訪問しての授業体験と部活動見学を実施</li> </ul>	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年間を通じて、各小学校と交流や連携ができたことは、児童生徒の実態把握ができ、9年間を見通してどのような指導や支援が必要かを考える良い機会となっている。</li> <li>○ 長年続いている交流事業でも内容を工夫することで、小中の連携を強めることにつながっている。</li> <li>○ 6年生の中学校訪問による授業体験と部活動見学を実施し、中学校の様子を実感していただいた。</li> </ul>	B
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 連携を充実させるためには、計画的な実施と時数の確保が不可欠であり、小・中連携の行事の内容や実施時期、回数などについて吟味し、検討していきたい。</li> <li>○ 年間計画に地域協働活動計画を位置付け、地域の人材や教材，資源などを積極的に活用したい。小学校と中学校が9年間を見通して、体験的・探究的な学習活動を充実させることで、地域から信頼される「あ・こ・が・れ」の学校を目指したい。</li> <li>○ 食文化学習や森林環境学習，縄文観訪問では地域の人材や教材，素材を積極的に活用するとともに，小学校での学びを教科横断的に深められるようにしたい。</li> <li>○ 小学校との合同によるボランティア活動の内容を工夫していきたい。</li> </ul>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	6 情報教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 学校教育用パソコン等 ICT 整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各授業での ICT 機器の効果的な活用方法の検討</li> <li>○ ICT 支援員による研修や相談の機会の設定</li> <li>○ リモート配信による授業の実践</li> <li>○ 集会活動や行事等での ICT 機器の積極的な活用</li> </ul> <p>(2) 情報モラル教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会津坂下警察署から講師を招いて講話を実施</li> <li>○ 全校集会や各学年の学級活動など活用した日頃からの啓蒙活動</li> </ul>	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研修会などを通して、ICT 機器の効果的な活用方法や授業時の展開例などが共有され、教職員のスキルアップにつながった。</li> <li>○ デジタル教科書、動画コンテンツなどの利用により、生徒の活動時間を確保することができた。</li> <li>○ スクールタクトの活用により、生徒が自分の考えを表現し、友人と協働して学習する授業を構築できた。</li> <li>○ 学びポケットにある、学習支援コンテンツを利用して個に応じた学習支援を行うことができた。</li> <li>○ リモート配信による授業や各行事で効果的に使用できた。</li> <li>○ 情報教育担当をはじめ、生徒指導担当や各学級担任による、SNS 等の使用に関するルールを確認する全校集会や全校道徳の機会を設けることができた。</li> </ul>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p>
次年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ICT 機器の効果的な活用方法や指導例などについて、今後も校内研修の場の設定とそのため時間の確保に努めていきたい。また、EdTech 部 ICT 授業研究会の実施回数を増やしていきたい。</li> <li>○ 小中連携による ICT 活用の共通実践項目策定や情報交換、出前授業の実践などの交流を引き続き行っていきたい。</li> <li>○ 発達段階に応じた情報リテラシーや情報モラルに関する学習を、授業以外の場面でも実践していきたい。</li> <li>○ 情報モラル教育を教育計画に位置付けて、学級活動や道徳の授業で実践していく。</li> <li>○ 学年だよりや学年通信、やないづ教育ネットによる教育活動の発信により、家庭との連携を深めるとともに、保護者への啓発にもつなげていきたい。</li> </ul>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分



基本事業	8 教育環境・条件の整備充実	
取組状況	<p>(1)教材教具整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種教材等更新整備、・学校図書購入(柳津小117冊、西山小114冊、柳学中99冊)、</li> <li>○ ICT機器購入(iPad、キーボード付ケース等各5台、ノートPC1台(各ソフトウェア含む)教育係ファイアウォール1台)</li> <li>○ ICT支援員の配置・・・各学校週1回</li> </ul> <p>(2)就学援助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準要保護就学援助 0名</li> <li>○ 特別支援教育就学援助 5名(柳津小2名、柳学中3名)</li> </ul> <p>(3)児童生徒通学費補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 遠距離通学児童生徒の保護者を対象にバス定期券購入費補助 30名(柳津小15名、柳学中15名)</li> </ul> <p>(4)高等学校等就学支援給付金事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4月1日現在で住所を有し、高等学校等に通学する生徒の保護者を対象に、5万円給付59件(68名) ※3回限度(1回/年)</li> </ul> <p>(5)高校生奨学金貸与事業・・・貸付実績なし</p> <p>(6)教職員福利厚生事業・・・生活習慣病検診、人間ドック受診</p> <p>(7)教員住宅管理事業・・・上村1戸入居/2戸、長坂1戸入居/4戸</p> <p>(8)スクールバス運行事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ スクールバス運行委託 本庁地区5路線、支所地区3路線</li> <li>○ スクールバス専用線運行委託 支所管内～柳学中 2路線</li> </ul> <p>(9)特別支援教育支援員の配置・・・柳津小3名、柳学中2名</p> <p>(10)複式指導解消支援教員の配置・・・西山小2名</p> <p>(11)学校施設等改修整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 柳津小・・・普通教室照明LED化工事、家庭科教室空調設備設置工事、体育館渡り廊下屋根修繕工事</li> <li>○ 西山小・・・玄関パラペット修繕工事、地下タンクFRPライニング工事</li> <li>○ 給食センター・・・調理室内ステンレス板設置工事</li> </ul> <p>(12)各種検定料補助事業 延べ103名受験(小学生18名・中学生85名) ・英検59名、漢検35名、数検9名</p> <p>(13)夏季・放課後学習会講師派遣事業(柳学中)・・・教員OB等を派遣</p>	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特別な支援を要する児童生徒の個に応じた指導、また、複式学級での学年に応じた指導を充実できるよう教育支援員の配置に努めました。</li> <li>○ 各事業において適正な予算執行及び契約工期に基づき完了することができた。</li> <li>○ 就学援助事業、児童生徒通学費補助事業、高等学校等就学支援給付金事業、英語検定料補助事業のほか、新規に漢字検定料と数学検定料についても支援を開始し、子育て支援の充実とともに、保護者の経済的負担の軽減に努めた。</li> </ul>	<p>達成度</p> <hr/> <p>B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校施設等長寿命化計画及び建築物定期検査等の結果に基づき、計画的に施設の改修を実施したいが、財源確保が課題である。</li> <li>○ ICT機器(タブレット等)について、財源を確保したうえで計画的に更新する。</li> <li>○ 教員住宅について、老朽化が進行しており、適切な維持管理に努める。</li> </ul>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

[生涯学習の推進]

基本事業	1 興味・関心を抱く学習機会の創出と町民同士の交流促進	
取組の状況	<p>(1) シニアサークル「福寿学園」「養寿学園」の開催 ○月1回の開催・受講生：福寿学園9名、養寿学園15名。</p> <p>(2) 成人学級「悠友倶楽部」の開催 ○月1回の開催・会員数54名</p> <p>(3) 料理教室の開催 ○月1回開催・受講生延べ15名</p> <p>(4) その他の教室 ○町民企画講座 健康づくり講座他 参加者25名 ○伝統工芸教室 12月18日 参加者10名</p> <p>(5) 地域文化財利活用事業 ○伝統食博覧会「ままんま博」2月8日 参加者83名 ○天然味噌づくり 1月28日 参加者35名 ○蕎麦打ち伝承 11月～12月 7回開催 参加者延べ29名</p>	
成果と評価	<p>○古からの知恵を再評価するとともに、学びと継承を自然な形で講座として提供。</p> <p>○限定的な予算の中で、地域人材と連携しながら多様な学習機会を確保した。</p>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center;">B</p>
次年度への課題	<p>○委託講座(料理)や交流イベント(ままんま博)を通じ多様な学習機会と住民のつながりを創出し、地域の学びの裾野拡大に貢献した。一方で、参加層の固定化や担い手不足など課題が残り、世代間交流や継続的運営体制の強化が今後の課題である。</p>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

[生涯学習の推進]

基本事業	2 社会教育施設の設備等の充実	
取組の状況	<p>(1) 活性化施設「ふれあい館」管理運営事業</p> <p>○地域住民の活動の拠点として、利用しやすい施設づくりに取り組んでいる。</p> <p>開館時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平日：午前8時30分～午後9時</li> <li>・土、日、祝日：午前8時30分～午後5時</li> </ul> <p>講座、文化団体、学校・PTA、体育関係、役場の会議、趣味のサークル、トータルスポーツ、一般会議・研修等への貸出。</p> <p>(2) 図書館整備事業</p> <p>○新たに閲覧コーナーと読書机を設置。中学生と大人を中心に利活用が進んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規購入図書174冊</li> <li>・総数9,672冊</li> </ul> <p>(3) 地区集会所施設の整備補助事業</p> <p>○町内1地区集会所の改修、修繕等の助成事業を実施し、地域コミュニティの拠点づくりと環境整備等に支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総事業費6,333,250円</li> <li>補助金総額4,808,000円(80%)</li> </ul>	
成果と評価	<p>○生涯学習や社会教育の場として、サークル活動を中心に利用促進を図った。放課後の児童生徒の利用に際しては公共の場でのマナーを指導しつつ、誰もが利用できる憩いの場として提供している。</p> <p>○新刊図書を購入し充実に努めるとともに、定期的に図書の入替えを行った。</p> <p>○図書の貸出冊数は前年比で5%増となっている。</p>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p>
次年度への課題	<p>○図書室の閲覧台の拡充や雑誌の導入により新たな利用者や貸出数の増加につながった。一方で、老朽設備の更新が不十分であり、空調機器の出力低下や故障など課題が残る。快適で誰もが使いやすい施設づくりに向けた対応が求められる。</p>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

[生涯スポーツとレクリエーションの推進]

基本事業	1 楽しさを感じるスポーツ事業の提供	
取組の状況	<p>(1) 各種町民スポーツ大会等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○飯谷山・博士山開き ※自由登山</li> <li>○町民ゴルフ大会 6月10日開催 参加者42名</li> <li>○霊まつり少年ソフトボール大会 7月27日開催 (保護者主催・町後援)</li> <li>○姉妹都市・出雲崎町スポーツ交流事業 9月8日 柳津町で開催 野球12名、ソフトバレーボール12名参加</li> <li>○やないづスポーツフェスタ 10月12日 187名参加 スポーツ記録会、ヨガ教室、ボッチャ体験会、お楽しみ抽選会等実施</li> </ul> <p>(2) 県総体地域スポーツ大会への参加</p> <p>両沼大会 バドミントン優勝、壮年ソフトボール準優勝 会津地域大会 バドミントン準優勝、壮年ソフト3位</p> <p>(3) ふくしま駅伝競走大会への参加</p> <p>第36回市町村対抗福島県縦断駅伝大会に出場 総合成績46位、町の部成績24位</p> <p>(4) 市町村対抗軟式野球大会・ソフトボール大会への参加</p> <p>野球:2回戦 会津若松市に勝利、3回戦 西郷村に敗退 ソフトボール:2回戦 小野町に敗退</p> <p>(5) 町体育協会運営事業</p> <p>12の加盟団体で構成し、スポーツを通じて町民の体力向上のため、各種競技団体で工夫し実施している。</p> <p>(6) スポーツ推進委員会の開催と活動</p> <p>月1回の定例会の開催と生涯スポーツの指導から立案と反省、両沼並びに県の研修会への参加、各種スポーツ教室の指導 (委員数13名)</p>	
成果と評価	<p>○昨年度はスポーツ少年団を中心とした活動が活発化し、スポーツ団体の加入率が前年比約12%増加するなど、子どもや保護者世代への普及促進という面では目標通りの成果を上げ、地域に根ざしたスポーツ活動の基盤強化に貢献した。</p> <p>○地区対抗のスポーツ大会を見直し、誰もがスポーツを楽しめる「やないづスポーツフェスタ」を開催。参加者数が前年度の2倍になり、参加者増も順調。</p> <p>○市町村対抗競技である駅伝、野球、ソフトには、昨年に引き続き町単独で出場することができた。</p>	<p>達成度</p> <p><b>B</b></p>
次年度への課題	<p>○高齢化や人口減に伴い、地区主体での参加が困難となり、スポーツをする機会が減少する懸念がある。また、スポーツを通じた健康寿命の延伸が必要である。</p> <p>○誰もがスポーツを楽しめる「やないづスポーツフェスタ」は、競技はもちろん、スポーツ以外のメニューも充実させることが必要。普段運動に興味がない人も楽しみながらカラダを動かすきっかけづくりを進めたい。</p>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

[生涯スポーツとレクリエーションの推進]

基本事業	2 スポーツ施設及び設備の整備充実	
取組の状況	<p>(1) 運動公園施設整備事業</p> <p>○「NPO法人赤べこトータルスポーツ」に管理委託して6年が経過し、民間主体による施設運営が順調に行われている。</p> <p>○B&amp;G体育館（1979年、武道館は1980年に建設、現在46・45年目） 体育館は高天井照明器具LED球2台交換。 年間利用者数10,377人（町民8,810人、町外1,567人） 内訳：体育館9,425人（町民7,981人、町外1,444人） 武道館952人（町民829人、町外123人）</p> <p>○海洋センタープール 年間利用者数2,096人（町民1,803人、町外293人）</p> <p>○テニスコート 年間利用者数2,663人（町民856人、町外1,807人）</p> <p>○グラウンド 年間利用者数4,848人（町民2,434人、町外2,411人）</p>	
成果と評価	<p>○スポーツ施設は、町の各種教室やスポ少、部活動、スポーツ合宿、大会等での利用が多い。地域住民の健康づくりや青少年の健全育成の場として活用されている。</p> <p>○運動公園施設は近隣市町村の利用も多くが、建設から55年が経過しており、老朽化が著しく、施設の長寿命化に向けて計画的な修繕が必須となっている。</p>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center;">B</p>
次年度への課題	<p>○施設の修繕箇所が多くなっていることから、必要な修繕の予算措置が必要。</p> <p>○海洋センタープール(昭和56年建設)は、経年劣化が著しい。屋根及び屋根シートは更新等に向けて検討が必要。</p> <p>○グラウンドの照明灯は、今後LED化に向けて計画的に予算措置していく必要がある。</p> <p>○テニスコート(昭和59年建設)は、LED照明化に向けて計画的な予算措置が必要である。</p>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

[生涯スポーツとレクリエーションの推進]

基本事業	3 指導者の確保とスポーツ団体への支援	
取組の状況	<p>(1) 町体育協会及びスポーツ推進委員会の活動支援</p> <p>○体育協会</p> <p>町民の体力向上を図り、スポーツ人口の底辺拡大を目指し、町民の健康づくりに寄与する。各事業の主催やその他事業への協力を実施。</p> <p>12団体活動</p> <p>○スポーツ推進委員会</p> <p>スポーツ事業の計画・精査・各種スポーツ事業の運営を支援。</p> <p>委員13名（男性11名、女性2名）</p> <p>(2) 赤べこトータルスポーツの活動支援</p> <p>クラブマネージャーが活動計画や運営に携わっている。</p> <p>活動場所として、運動公園施設、ふれあい館を無償で提供している。</p>	
成果と評価	<p>○赤べこトータルスポーツは、町事業委託や近隣町村への独自の活動を広げている。</p> <p>○住民の体力増進や青少年の健全育成など貢献度は大きい。</p>	<p>達成度</p> <p>B</p>
次年度への課題	<p>○各種地域スポーツ団体が、それぞれが自主性をもって活動できるような支援の在り方の再検討が必要である。</p> <p>○地域スポーツを推進するための担い手不足や組織の活性化。</p> <p>○地域住民にスポーツの楽しさを感じてもらうための機会提供に努めていく。</p>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

[地域行事の継承、文化財の保存・活用と芸術文化の振興]

基本事業		1 文化財の適切な保存・管理	
取組 の 状 況	<p>(1) 町指定文化財管理事業</p> <p>○国・県・町指定文化財21件(国2件、県3件、町16件)</p> <p>○新たに「人体像把手付土器」と「奥会津・伝統的な保存食」を追加。 ※土器は県指定に認定。</p> <p>(2) 縄文館活用事業</p> <p>○石生前遺跡出土品の整理と企画展等の実施による利活用を実施した。文化財整理指導員と文化財整理員により適切に保存・管理を行った。今後の効果的な活用を図るため収蔵庫内を整理するとともに、今後、国指定重要文化財を目指すため基礎的なデータ整理を実施した。企画展では当町の縄文文化を町内外へ発信した。</p> <p>(3) 食文化ストーリー事業</p> <p>○急速に失われている地域の伝統食調査・記録・研究を進めた。保存食材料の採取・栽培・加工・流通・保存の記録、隣接地域等との比較考察に向けた調査、専門家等による検討会・助言指導、成果共有のための報告会を実施。伝統食博覧会「ままんま博」(2月8日)では、地域文化財の価値評価と内外に向けた地域の文化的な価値の継承と発信を行った。</p> <p>(4) 地域・日本の新たなレガシー形成事業</p> <p>○将来にわたり国内外から旅行者を惹きつけ、継続的な来訪や消費額向上につながる地域・日本のレガシーとなる地域文化財の価値形成を促すことを目的に、実現可能性調査(FS調査)や調査結果を踏まえたプラン作成等を行った。※観光庁採択による新事業</p> <p>(5) 文化財火災防御訓練の実施</p> <p>○奥之院弁天堂、圓藏寺周辺での防御訓練 柳津町消防団・圓藏寺自衛消防隊合同防災訓練と同時開催</p>		
	成果と評価	<p>○池ノ尻遺跡出土品の「人体像把手付土器」が県指定文化財に認定された。</p> <p>○伝統食博覧会「ままんま博」では、地域文化財の価値評価と内外に向けた地域の文化的な価値の継承と発信により、シビックプライドの醸成や文化観光の基礎づくりにつながった。</p> <p>○縄文出土品の再評価に向けた冊子を作製し、内外の好評を得た。</p> <p>○食文化調査活動が評価され、国内6か所の一つとして事業採択された。</p>	達成度
次年度への課題	<p>○地域文化財の担い手の育成や無形文化財登録に向けた機運が高まっており、利活用に向けた組織づくりや人づくりが求められる。将来的な文化観光も視野に入れた持続可能な地域づくりや、ゆるやかな地域経済の循環形成に引き続き努めていく。</p> <p>○住民参加型のイベントを通じて、地域の歴史文化を学ぶ機会を創出するとともに、地域内外への情報発信力の強化や、地域の誇りや愛着を育むシビックプライドの醸成も必要。</p>		

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

[地域行事の継承、文化財の保存・活用と芸術文化の振興]

基 本 事 業	2 有識者、関係機関との連携	
取組 の 状 況	<p>(1) 柳津町文化財保護審議会の開催</p> <p>○文化財保護審議会の開催 ○現地研修 岐阜県岐阜市他（長良川歴史的景観維持地区）11月25日～27日</p> <p>(2) 有識者や関係機関との協力</p> <p>○食文化ストーリー事業において奥会津「命をつなぐ」伝統的保存食文化調査事業を実施し、専門家等による検討会・助言指導をいただくと共に、成果共有のための報告会を実施した。</p>	
成果 と 評 価	<p>○文化財の地域観光への活用を積極的に進め多く組織づくりや歴史や伝統文化等に触れられるよう専門性を持った地域人材を育成する素地が生まれている。</p> <p>○奥会津での保存食とその保存食を使った伝統食について、持続可能な仕掛けづくりとして専門家の指導や継承者の協力を得ながら伝統食の再現・作成勉強会を実施した。</p>	<p>達成度</p> <p style="text-align: center;">A</p>
次 年 度 へ の 課 題	<p>○大学や博物館等との連携による調査研究を深めるとともに、文化財保護審議会や有識者の指導を受けながら新たな地域資源(食文化、伝統行事等)の保存に努める。</p> <p>○担い手の育成や無形文化財登録に向けた機運を高めていき、将来的な文化観光も視野に入れた持続可能な地域づくりや、ゆるやかな地域経済の循環形成のため、地元関係者の他、専門家を含めた組織作りが必要である。</p>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

[地域行事の継承、文化財の保存・活用と芸術文化の振興]

基本事業	3 やないづ町立斎藤清美術館の充実
取組の状況	<p>(1) 斎藤清展事業 【入館者数 11,694人】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○企画展の実施 (年3回開催) <ul style="list-style-type: none"> <li>・春季企画展【2,660人】 <ul style="list-style-type: none"> <li>「パリめぐり～斎藤清をおいかけて・PHYSICAL BEAUTY」 4.13～6.9</li> </ul> </li> <li>・2024年度斎藤清美術館特別企画展・奥会津7町村文化施設間連携事業企画展 <ul style="list-style-type: none"> <li>「再考・会津の冬」 I期7.20～9.8 II期9.14～11.10 【6,581人】</li> </ul> </li> <li>・冬季企画展【2,453人】 <ul style="list-style-type: none"> <li>「これも斎藤清なの？」 前期：11.23～1.19 後期：1.25～3.30</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○県外斎藤清展推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>○オリジナルグッズの館外販売 (東京都美術館)</li> </ul> </li> <li>(3) 滞在的アートプロジェクト事業、地域アートプロジェクト事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域住民が気軽に参加できるトークイベント・講演会・ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> <li>・「館長講座」7月20日、9月28日、11月9日</li> <li>・「学芸員講座」6月8日、8月11日、10月12日</li> </ul> </li> <li>○ミュージアムカフェ <ul style="list-style-type: none"> <li>・4～5月の土日祝日 15日間</li> </ul> </li> <li>○筑波大学、会津短期大学との連携イベント <ul style="list-style-type: none"> <li>【筑波大学】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館が所有する斎藤清絵本について、筑波大学と連携しデジタル技術を活用した作品を制作 「炭ヤク里ノ子」、「北海ノ子」</li> </ul> </li> <li>【会津短大】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「葉っぱのスタンプをつくろう」9月29日</li> <li>・「木の枝でドーム型秘密基地を作ろう」11月30日</li> <li>・版画体験キットの制作</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○地域おこし協力隊事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊ワークショップ 1回</li> <li>・おはなし鑑賞会 柳津・西山小学校全学年実施</li> </ul> </li> <li>(4) 作品等収集 <ul style="list-style-type: none"> <li>○広島県三次市、松島俊宏氏より斎藤清作品 (木版画) 45点寄贈</li> <li>○代表作品、デッサン、墨画など未収蔵作品等の情報収集</li> </ul> </li> <li>(5) 施設整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>○収蔵庫空調機器更新</li> <li>○収蔵作品を虫害やカビ害から守るために収蔵庫・前室・荷解室の除塵・除菌処理を実施</li> </ul> </li> </ul> </li></ul>

<p>成 果 と 評 価</p>	<p>(1) 入館者数 11,694 人 (R5 年度 12,111 人、3.44%減)  年 3 回の企画展を実施した。7 月～11 月にⅡ期に分けて実施した「奥会津 7 町村文化施設間連携事業企画展・再考・会津の冬」の企画展においては、6,581 人と多くの方に入館いただいた。令和 6 年度は収蔵庫の空調機器の更新のため令和 5 年度と比較し開館日数が 25 日少ない状況であり、入館者数は令和 5 年度と比較し 417 人の減となったが、1 日平均入館者数を見るとほぼ横ばいであった。</p> <p>(2) 収入額 23,727 千円 (R5 年度 25,233 千円、5.96%減)  入館者数は昨年度より減少したが、入館料については令和 5 年度よりも 182 千円増加し、グッズ販売収入については令和 5 度においては、他館において「斎藤清展」を開催し、当館のグッズを販売したことで、1,680 千円の販売収入があった。令和 6 年度の販売収入と比較すると 1,688 千円の減となっているが、他館での販売収入分 (1,680 千円) を除くと、昨年度とほぼ横ばいであった。</p> <p>(3) 展示以外に企画展とあわせてカフェやコンサートを行った。</p> <p>(4) 地域に根ざし、開かれた美術館を目指すため、筑波大学や会津短期大学との連携事業を行った。</p> <p>(5) 専門的な知見を有した美術館長の適切な指導助言により、上記事業について取り組みが焦点化され、成果をあげることができた。</p>	<p>達成度</p> <p>B</p>
<p>次 年 度 へ の 課 題</p>	<p>(1) 集客のための斎藤清ブランドの再構築が必要  ○公式 HP の内容充実と公式 SNS である facebook、Instagram、YouTube での情報発信の強化・拡充  ○新たなファン獲得に向けた企画の検討</p> <p>(2) 斎藤清アーカイブの継続的实施  ○作品の収蔵・研究・展示という美術館の基本サイクルの徹底  ○斎藤清を知る人からの情報収集</p> <p>(3) 町民に美術をより身近なものとして捉えてもらうために、町内小中学校や、関係各課と連携し、子供から高齢者の方まで町民が気軽に訪れることができる環境づくりに取り組んでいく必要がある。また美術館通信を定期的に発行し、町民へ美術館の企画・事業を広く周知する</p> <p>(4) 電子決済の導入  来館者のキャッシュレス利用意向が高まっていることから、来館者へのサービス向上、業務効率化の面からも、グッズ販売等に伴う支払方法について、キャッシュレス決済の導入を実施予定。</p> <p>(5) 施設整備  アートテラス及びエクステリアの整備に向けて検討</p>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

## IV 点検・評価に関する有識者の意見

## 有 識 者 名 簿

【敬称略】

No.	職 名	氏 名
1	柳津町文化協会長	新 井 田 順 一
2	柳津町スポーツ協会長	齋 藤 幹 夫
3	柳津町人権擁護委員代表	鈴 木 晴 美
4	柳津町主任児童委員	荒 木 南 枝
5	柳津町主任児童委員	菊 地 由 枝
6	柳津小学校PTA会長	齋 藤 盛 文
7	西山小学校PTA会長	山 内 諦 真
8	会津柳津学園中学校PTA会長	目 黒 照 枝

## IV 点検・評価に関する有識者の意見

### 1 点検・評価に関する有識者について

学識経験者の知見の活用については、本町の教育行政に関わりのある以下の方々を点検・評価に関する有識者として選任し、ご意見をいただきました。(敬称略)

- ・新井田 順一 〈柳津町文化協会長〉
- ・齋藤 幹夫 〈柳津町スポーツ協会長〉
- ・鈴木 晴美 〈柳津町人権擁護委員代表〉
- ・荒木 南枝 〈柳津町主任児童委員〉
- ・菊地 由枝 〈柳津町主任児童委員〉
- ・齋藤 盛文 〈柳津小学校PTA会長〉
- ・山内 諦真 〈西山小学校PTA会長〉
- ・目黒 照枝 〈会津柳津学園中学校PTA会長〉

### 2 点検・評価に関する有識者の意見(順不同)

#### (1) 教育委員会の活動状況について

- ・かなりの回数に頭が下がります。これからも宜しくお願い致します。
- ・年間を通じて多くの職務を全うしてくださり、大変感謝しております。
- ・適切に活動が実施されたと思います。いじめ問題についての対策協議会は設置されていますが、不登校児童については、どうですか。特に設置を必要としなくても解決しているのでしょうか。
- ・私に時折送られてくる案内も結構あるかなと思うのに、それ以上にお骨折り頂いて、ありがとうございます。これからも子供達の未来のためによろしく願います。
- ・年間を通して、子どもたちの学問、運動を通じた体作り、心の育成のための活動が計画的に行われてきたと思います。特に、いじめに関する問題は小・中学校や家庭だけでなく、柳津町の問題として取り組まなければならないと思いました。(これまでの取り組みをしながら、支援員の増員など出来たら、さらにサポート体制が充実すると思います。簡単にはいかないと思いますが...)。
- ・教育委員会委員について、審議会、協議、学校行事、研修会、生涯学習関係行事等に出席され、肌で感じることは大変意義深いものと推測いたします。また、研修会等で得られる情報により、見識が益々高められている事と存じます。これからの学校教育(統合、一貫教育、等)についても話題に挙げる事も必要ではないでしょうか。

## (2) 各重点施策の点検・評価について

- ・ 重点施策に関しても、様々な視点から子どもたちの成長・育成のために計画、実行、反省がされていると思います。
- ・ 全体的に丁寧でバランスの良い取り組みがされていると思います。
- ・ 学校の先生だけで考えるのではなく、地域学校協働で他の意見も聞けたりする事で、先生方の負担は少なくなっているのでしょうか。逆に多くなったりしてるのでしょうか。私も意見を述べるだけで、なかなかお手伝い出来なかったりするので、どうなのかなと思うところです。結果、いろんな意見を出しても決めるのは学校の先生方だから良いのでしょうか。
- ・ 令和6年度には各種検定料の支援、海外派遣事業遂行、ブリティッシュヒルズでの英語研修など教育への素晴らしい助成が顕著であったこと大変感謝しております。また、特別支援情緒クラスの新設へのご尽力も素晴らしい成果だと思えます。全体的には評価はBが多いと読み取れます。Aが多くなるように今後も継続して改善を望みます。
- ・ 次年度への課題の中に、(対応が求められる・必要である・進めたい・検討が必要・予算措置が必要・努めたい) など、抽象的で具体性に欠ける。町振興計画に基づき予算措置や補助事業を把握し、年度別計画を明確にして、修繕や改修、新規事業を進めて頂くと共に、財政当局や各種関係団体との連携、共有を十分に図って下さい。

### 【学校教育の充実】

- ・ 与えられた課題をクリアするだけでなく、自発的に新しい課題を発見し、知識を得ることの楽しさを理解できるような主体性を育む取り組みが少ないように思います。
- ・ 各学校が、“ほぼ達成”又は“十分達成”の達成度を示されている事は、児童、生徒並びに保護者の皆様も安心できる事と存じます。今後も個性を大切にすると共にルールを守り、ICT機器を活用しながら(読み、書き、そろばん)も大切にして頂きたい。

### ① 確かな学力の向上(かしこい子どもに)

- ・ 個別の項目に関しては、学力の向上(特に中学生)が最重要課題だと実感しております。全国学力検査では全国平均以下の偏差値がどの学年もほぼ占めており、とりわけ英語がどの学年も最下位です。英語学習に関しては今後の高等教育への進学にも重要な要素となっております。数学も同様です。

中学校初期の学習習慣の確立は、その後の進学にも大きく影響を及ぼします。会津柳津学園中学校の生徒の学力向上は高校選択の幅を広げ、将来的な柳津町に寄与する人材の育成の第一歩です。低水準の学力を放置した場合、高校中退、低所得者の排出が懸念されます。ゆえに、中学生の学力向上は現在の柳津町の喫緊

の課題であると認識しております。

② 豊かな心の育成（意欲をもってやり抜く子どもに）

- ・ メディアコントロールについては、常時コントロールをする必要があるように思います。
- ・ 家庭との連携の他に、行政・地域・福祉等々との連携もあれば、より充実してくると思いました。地域等のマンパワーを活用しても良いのでは。

③ 健やかな身体の育成（たくましい子どもに）

- ・ 柳津小学校の次年度への課題中の日課表に位置付けたマラソントイムとありますが、土曜・日曜は入っていますか。入っていないのであれば、体力向上推進計画を全職員で共通理解し課題改善とあるので、保護者にも協力してもらおう。例えば、①保護者と朝または夕方に実践してもらおう。②以前は各地区に「子供会」がありましたが、今は少子化で無いかもしれませんが、2～3人居れば可能かと思えますし、心配であれば保護者が付ければ安心かと思えます。

土・日曜も継続することで、「休める」の思いを解除したら、月曜日につながると思いました。中学生になると個人差が大きいと思うので、一概には言えないにしても、目標がある子は強いと思うし、こちら側が相言った子供に対し、どれだけの心血を注ぐ事が出来るかですよ、誇りに思える先輩がもし居たら、何らかの目標なんかも、持つことが出来るかもしれないですね、それも実践ですよ。課題の中に「走る時間」の絶対量と「アジリティー」の強化は私も大事だと思います。

④ 特別支援教育の充実

⑤ 小・中（小・小）連携教育の推進

⑥ 情報教育の充実

- ・ ICTに関しては、私が学校教育を受けていた時代には無かった新しい分野で、新しい時代に対応した内容と思っています。AIの時代と言われる昨今なので、プログラミング等もさらに充実させ、次世代で活躍できる人材育成に繋がってくれれば嬉しいです。

⑦ 英語教育・国際理解教育の充実

⑧ 教育環境・条件の整備充実

- ・ 令和6年度まで成果のあった、高等学校等就学支援給付金が今年度には児童手当の拡充により、廃止されたことは大変残念に思います。児童手当の拡充は全国

一律の支援であり、柳津町に住んでいるか否かは無関係であります。町の高校生世代への支援が無くなり、所属高校の近所に転居する可能性も考えられることから、人口流出のきっかけにもなりかねないと考えます。是非、包括的な柳津町での教育支援として復活を強く願います。

#### 【生涯学習の推進】

- ・ 各事業が、“ほぼ達成”又は“十分達成”の達成度が示されているが、やや不十分、不十分は本当になかったのか、再度検証して頂きたい。

##### ① 興味・関心を抱く学習機会の創出と町民同士の交流促進

##### ② 社会教育施設の設備等の充実

- ・ 新しく閲覧コーナーと読書机が設置され、良かったと思います。本はまだまだ少ないと思います。
- ・ 靴を履いたまま利用できるスペースもあると良いのでは。

#### 【生涯スポーツとレクリエーションの推進】

- ・ 各事業が、“ほぼ達成”又は“十分達成”の達成度が示されているが、やや不十分、不十分は本当になかったのか、再度検証して頂きたい。

##### ① 楽しさを感じるスポーツ事業の提供

##### ② スポーツ施設及び設備の整備充実

##### ③ 指導者の確保とスポーツ団体への支援

#### 【地域行事の継承、文化財の保存・活用と芸術文化の振興】

##### ① 文化財の適切な保存・管理

- ・ 地域住民の理解と連携を促しながら、さらに充実して行って欲しいと思います。

##### ② 有識者、関係機関との連携

##### ③ やないづ町立斎藤清美術館の充実

- ・ 代表作を展示する常設コーナーがあると良いと思います。
- ・ 美術館通信の発行は、大変良いと思います。

## 《資 料》

### 令和6年度 柳津町教育委員会の点検・評価の概要

柳津町教育委員会は、要綱に基づき、令和6年度の教育委員会に属する事務の管理及び執行状況について、次のとおり点検・評価を行います。

#### (1) 点検・評価の対象（項目）

「柳津町教育委員会の活動状況」及び「柳津町教育委員会の重点施策」

##### ① 柳津町教育委員会の活動状況

柳津町教育委員会の開催及び審議状況、教育委員の主な活動、教育委員会の情報発信等

##### ② 柳津町教育委員会の重点施策

令和6年度柳津町教育委員会重点施策について、「取組の状況」「成果と評価」「次年度への課題」の視点から、それぞれ点検・評価を実施する。

※「達成度」については、重点施策ごとに、A（十分に達成）、B（ほぼ達成）、C（やや不十分）、D（不十分）の4段階で評定

#### (2) 学識経験者の知見の活用

柳津町小中学校保護者を含む教育関係者等、教育に関し知見を有する方から、柳津町教育委員会の内部評価について意見をいただく。

※令和6年度の点検評価学識経験者

- ・文化協会長・スポーツ協会長・人権擁護委員代表・主任児童委員
- ・町立小中学校PTA会長

#### (3) 点検・評価の経緯

柳津町教育委員会では、次の手順で点検・評価を実施する

##### ① 各学校での内部評価（3月～4月）

○重点施策「学校教育の充実」

##### ② 教育委員会の内部評価（4月～7月）

○教育委員会の活動状況のまとめと評価（学校教育係）

○事務事業の取組（進捗）状況のまとめと評価（各係）

○事務事業の評価に基づく重点施策の評価（学校教育係）

##### ③ 学識経験者からの意見聴取（8月）

##### ④ 点検・評価についての審議及び決議（9月教育委員会定例会）

##### ⑤ 点検・評価報告書を柳津町議会へ提出（10月議会全員協議会）

##### ⑥ 町ホームページ等で町民への公表（10月～）

## 柳津町教育委員会事務管理及び執行状況の点検・評価実施要綱

柳津町教育委員会

### (目的)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和36年法律第162号。以下「法」という。）第27条の規定に基づき、柳津町教育委員会（以下「教育委員会」という。）が実施する教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について必要な事項を定めるものとする。

### (点検及び評価の対象)

第2条 点検・評価の対象は、教育委員会の活動状況及び教育委員会が定める重点施策とする。

### (点検及び評価の期間)

第3条 点検・評価は、当該年度の前項に規定する事項について行うものとする。

### (資料の整理等)

第4条 点検及び評価に資するため、事務局（法第18条に規定する事務局をいう。以下同じ。）は、第2条に規定する事項について必要な書類を整理する。

### (点検及び評価)

第5条 点検及び評価は、前条に規定する資料に基づき、学識経験者の意見を聴取した上で教育委員会において行う。

### (点検・評価に関する有識者)

第6条 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「点検・評価に関する有識者」を置く。

2 点検・評価に関する有識者は、小中学校保護者及び教育関係者等、教育に関し知見を有するものの中から教育委員会が選任する。

### (議会への報告等)

第7条 教育委員会は、当該年度の点検及び評価を行った後、その結果をまとめた報告書を作成し、これを柳津町議会へ提出するとともに公表する。

### (庶務)

第8条 点検及び評価の実施に関する庶務は、教育課学校教育係において行う。

### (委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要事項は別に定める。

### 附 則

この要綱は、平成21年2月27日から施行する。

## ○用語解説

### ICT機器

ICTとは、Information（情報） and Communication（通信） Technology（技術）の略称で、情報通信技術のことであり、ICT機器とは、コンピュータやインターネット、電子黒板、プロジェクタ等のことをさす

### アジリティトレーニング

俊敏性、機敏性、巧緻性を高めるトレーニングのこと

### RST（リーディングスキルテスト）

文章に書かれている意味を正確にとらえる力（基礎的な読む力・読解力）を測るテストのことをいう

### SSW（スクールソーシャルワーカー）

問題を抱える児童・生徒を取り巻く環境へ働きかけたり、学校に対する支援体制づくりや専門的な助言、関係機関等との連携・調整を行ったりするなど課題解決を図るためのコーディネーター的な福祉の専門職

### SC（スクールカウンセラー）

学校の教育相談体制、児童・生徒指導體制の中で、いじめ、暴力、不登校等の問題行動や、発達の課題、精神科領域の問題、家庭環境や親子関係の課題等、児童・生徒が抱えるさまざまな課題について、児童・生徒、保護者、教職員に対し心理的課題の解決に向けてカウンセリングやアセスメント（情報収集・見立て）、コンサルテーション（専門家による指導・助言を含めた検討）等を行う心理の専門職

### SNS

ソーシャルネットワーキングサービス（Social Networking Service）の略で、インターネット上のコミュニティサイトのこと

SNSには「LINE」「Facebook」「Instagram」などさまざまな種類がある

### NRT

全国的な学力水準を知ることができる全国標準学力検査のことをいう

前年度に学習した内容の定着を確かめる検査でもあり、児童生徒が、どれだけ学習内容を理解できたのか、身についたのかを全国平均と比較して把握ができる

## QU

Questionnaire-Utilities の略称で早稲田大学の河村茂雄教授が開発した学校・学級生活への不適應、不登校、いじめ被害の可能性の高い子どもを早期に発見できる「楽しい学校生活を送るためのアンケート」という心理検査のことをいう

学校生活における子どもたちの満足感や意欲、学級集団の状態などを質問紙によって測定するもので、担任は児童生徒や学級の状態を客観的・多面的に理解でき、いじめや不登校、学級の集団としての崩壊などの未然防止に役立てることができる

## Zoom

インターネット環境とパソコン等を使って、映像と音声で遠隔にいる相手とコミュニケーションがとれるWeb会議システムのことをいう

町内小中学校の交流授業でも活用している

## スクールタクト

紙ではできなかった「動く教材」を簡単に作成したり、タブレットで撮影した写真を一瞬で児童生徒に配布、児童生徒同士で共有するなど、児童生徒、先生の授業をサポートする様々な機能がある授業支援システムのことをいう

## T・T指導

T・TとはTeam Teaching（ティーム・ティーチング）の略称で、複数の教員が協力して授業を行う指導方式のことをいう

## メディアコントロール

メディア（テレビ、タブレット、スマートホン、ゲーム機など）に接する時間や、メディアに接する内容等を親がしっかり把握し、制限・制御（コントロール）すること

## ロイロノート

すべての授業で使える「思考力」「プレゼン力」「英語4技能」を育てる様々な機能がある授業支援システムのことをいう